

高齡化の状況

家族と世帯

健康・福祉

経済状況

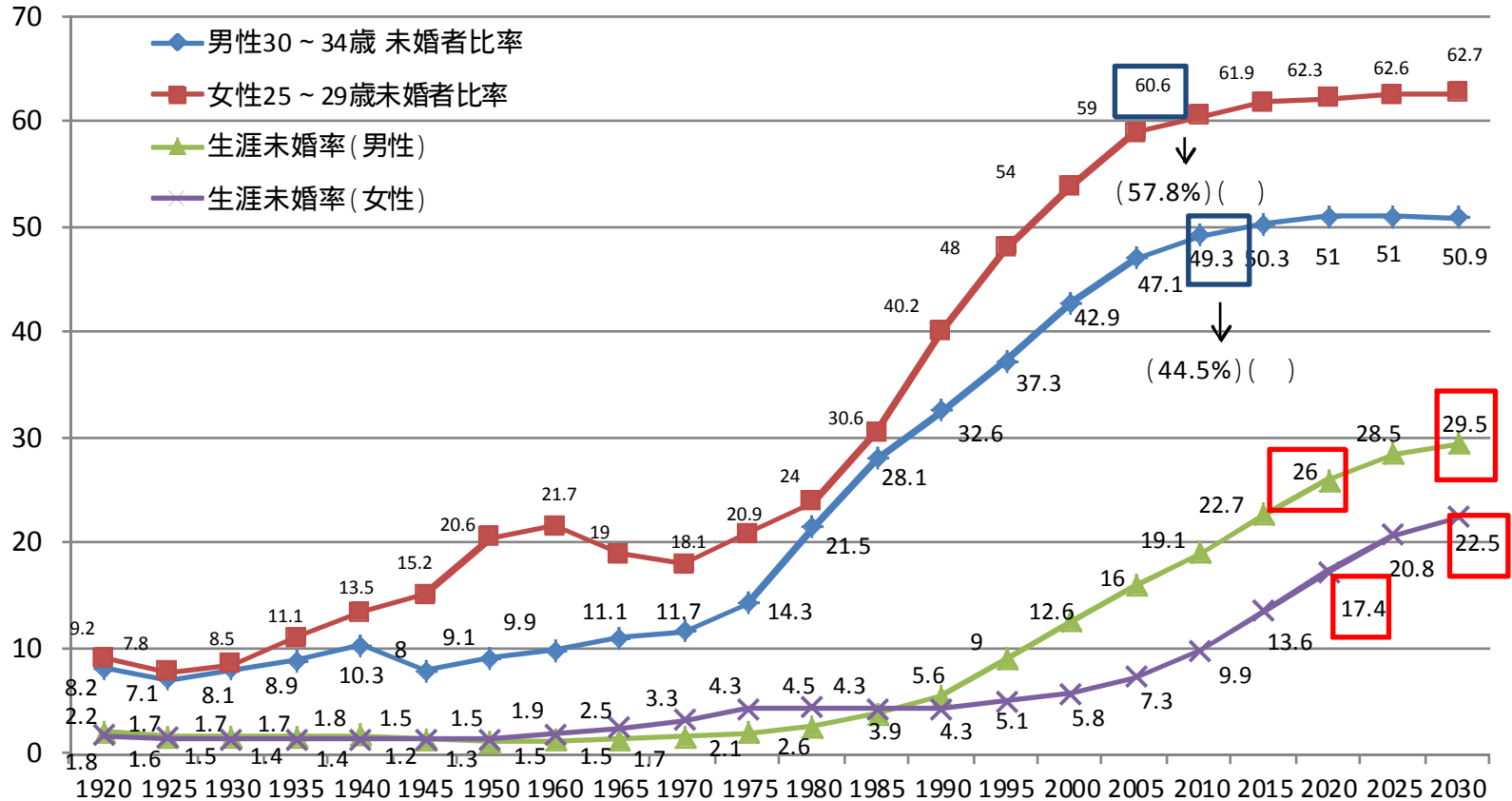
就業

社会参加活動

生活環境

生涯未婚率は、2020年には男性で約26%、女性で約17%、2030年には男性で約30%、女性で約23%になる見通し

### 生涯未婚率の推移



資料出所: 資料: 総務省統計局「国勢調査」(平成17年)及び国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計(全国推計)(平成20年3月推計)」「人口統計資料集(2009年版)」

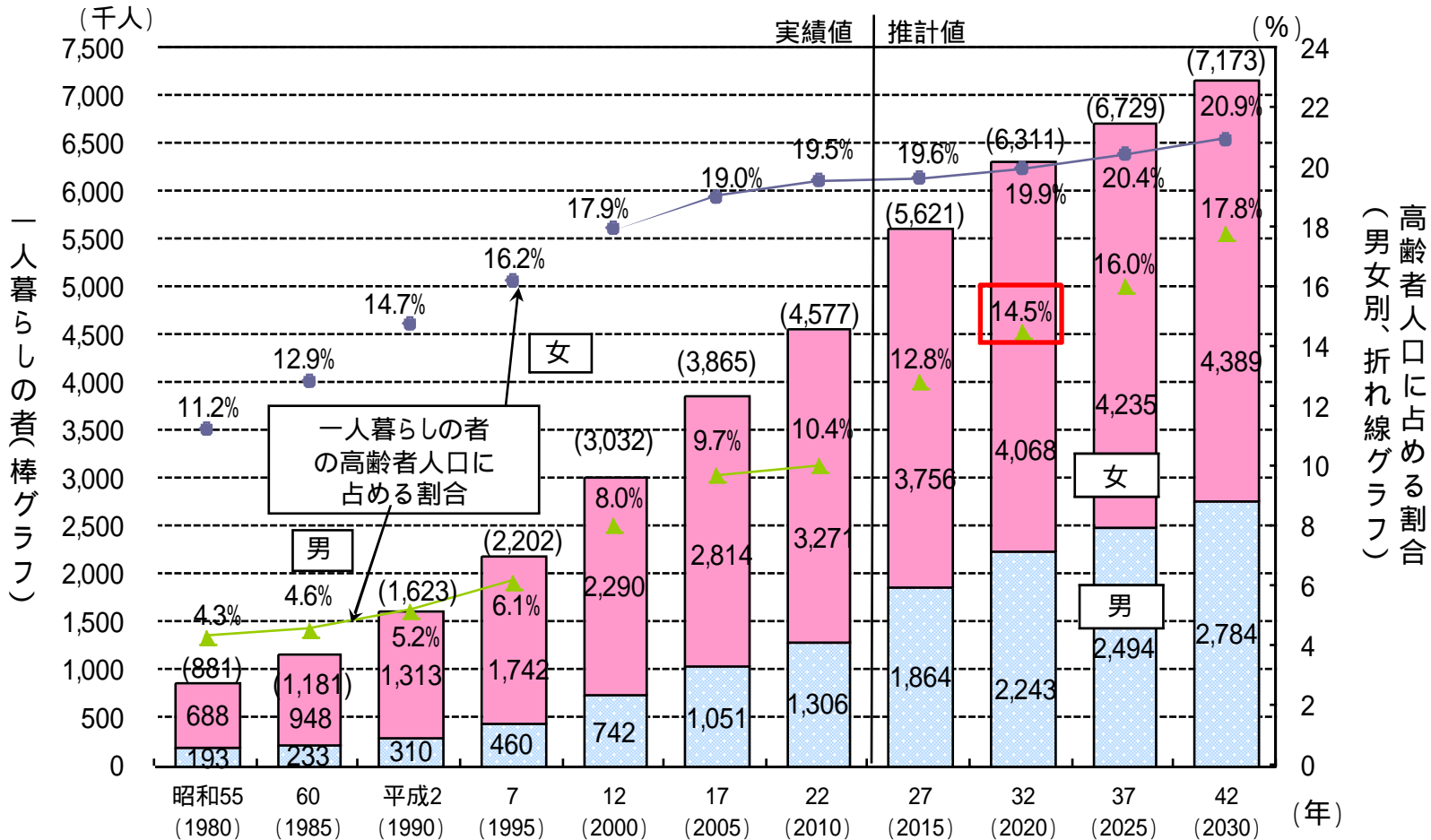
注1: 男性30～34歳未婚率、女性25～29歳未婚率は2005年までは「国勢調査」、2010年以降は「日本の世帯数の将来推計」による。

注2: 生涯未婚率は、50歳時点で一度も結婚をしたことのない人の割合であり、2005年までは「人口統計資料集(2009年版)」、2010年以降は「日本の世帯数の将来推計」より45歳～49歳の未婚率と50歳～54歳の未婚率の平均。

( ) 平成22年総務省統計局国勢調査抽出速報集計結果

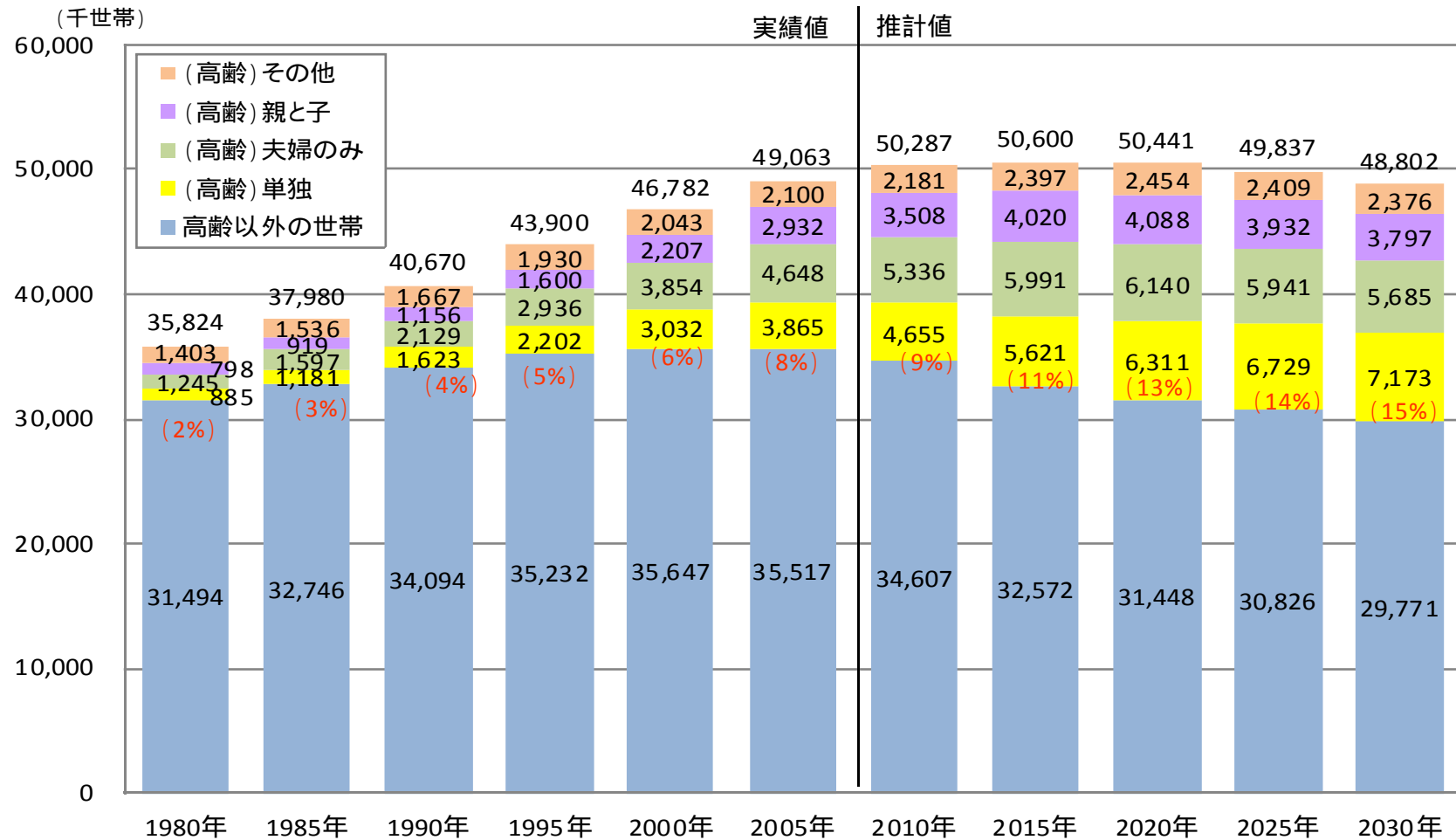
高齢男性は単身者比率が急速に上昇し、2020年には14.5%となる見通し

一人暮らし高齢者の動向



資料:平成17年までは総務省統計局「国勢調査」、平成22年は「国勢調査抽出速報集計結果」、平成27年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計(平成20(2008)年3月推計)」、「日本の将来推計人口(平成18(2006)年12月推計)」  
 (注1)「一人暮らし」とは、上記の調査・推計における「単独世帯」のことを指す。  
 (注2)棒グラフ上の( )内は65歳以上の一人暮らし高齢者の男女計  
 (注3)四捨五入のため合計は必ずしも一致しない。

今後も高齢者の単身世帯は増加し、2020年には高齢者世帯の約1/3が単身世帯となり、全世帯の13%(8世帯に1世帯)が高齢単身世帯となる見通し



資料：総務省統計局「国勢調査」(平成17年)、国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計」(平成20年3月推計)  
 (注1) 一般世帯とは、住居と生計を共にする者の集まり、または、一戸を構える単身者のこと。寮等の学生、病院等の入院者、矯正施設等の入所者などは、施設等世帯とされる。  
 (注2) 高齢世帯とは、世帯主の年齢が65歳以上の一般世帯  
 (注3) ( )は全世帯のうち高齢者単身世帯の割合